

男女の性とジェンダー

基本的な男女関係

- 0, 両親: 父と母の役割の違いの認識、男と女の違いの理解
- 1, 片思い: 自己理解、自他の心情の理解、気遣いのやり取り
- 2, 交際: 相互の気遣いの受容、行動や体験の共有、感情の増幅
- 3, 婚約: 生活や人生の共有の意思と決心、肉体的な所有関係の受容
- 4, 結婚: 一心同体の社会的な意思表示、社会的権利と義務の発生
- 5, 新婚生活: 両親からの自立と生活の協力、性的な喜びの共有
- 6, 出産: 愛(精神)が子(物質)の生む(創造)恵み(感謝)の体験
- 7, 子育て: 子(物質)を養育し自立(精神)を支援する創造の営み
- 8, 性教育: 人の成長には、父と母、男と女が必要であることを教える

資本主義(物質主義)社会の性とジェンダー

- 1, 男女の身体的特徴(生殖機能や体質)を生活や社会活動に短絡的に利用
- 2, 生存競争や民族的、国家的闘争の中で、男は闘争、女は子育てで命を守る
- 3, 国家的治安の中では、男は労働して収入を得、家族の生活を守る役割に変化
- 4, 生存競争の中のこうした役割分担が、男らしさ女らしさの必要、魅力と認識
- 5, 資本主義は従順で安価な労働力を求めるため、女性を労働市場に巻き込んだ
- 6, 大量生産によって消費者の地位が上がると、人権の主張、差別反対の運動へ
- 7, 物質的繁栄は、男らしさの意義を喪失し、女も子育ての意義を見失った
- 8, 資本主義は、男女とも金儲けと物質的豊かさの享受を善とする価値観に誘導
- 9, 人は今のことしか考えず、生きる目的も自分の役割も男女の性すら見失った
- 10, LGBTQは性選択の自由と権利を要求し、性の果たすべき役割と義務を拒否
- 11, 米民主党政権は、性差別反対運動を利用して権力を強大化、全体主義を信奉

創造主義(精神主義)の性とジェンダー

- 1, 男女の身体的特徴には、それに適した行動形態があり精神的特徴も生まれる
- 2, 男は目的を設定しそれを実現する力、女は現状を捉え感情で表現する力に勝る
- 3, 女は子を産み(創造し)、男に生産活動(創造)の場を提供しまた評価する
- 4, 男は自分の行動を善と評価する女、女は自分の感情を美と評価する男を愛する
- 5, 創造主義は必要なものを自分で生産しまた供給し合う、自給自足経済である
- 6, 交流が広がれば、人々の必要を察知し創造する活動を男女の協力によって行う
- 7, 男らしさ、女らしさ、自分らしさは、他の人々との関わりの中で育てていく
- 8, 創造主義は、自分が相手のために奉仕して得られる感謝を喜びとし善とする
- 9, 私はなぜ生まれてきたのか、男として女として何をすべきか、は神様に聞く
- 10, 男女の平等も、男らしさの意義も、女らしさの意義も、神様の中にある